



2017年5月号

発行:国際ビジネス情報協同組合

ゴールデンウィークですね  
1年の中で一番季節の良い大型連休ですね  
皆様のご予定は!?  
今年のG.Wの海外旅行先は不動の台湾がナンバー1  
続いてハワイが2位で、シンガポール、タイと続き5位には韓国  
これだけ反日ニュースや北朝鮮問題も報道されているのに  
韓国に行く人がいるとは…少し残念ですね  
どこへ行くにしても外務省の海外安全ホームページで  
情報を見ながら渡航して下さいね!  
海外でのんびり過ごせるなんて羨ましい限りです

～5月号掲載内容～

- \*GDP (国内総生産)
- \*一人当たりのGDP
- \*財政政策出動
- \*休日
- \*労働生産性
- \*北朝鮮と日本防衛
- \*北朝鮮の戦力
- \*日本の迎撃態勢は?
- \*戦争は起こるのか!?
- \*欧州連合(EU)が揺れ動いている
- \*主な候補の得票率
- \*決戦投票
- \*北朝鮮に対する温度差

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。  
投稿先: info@ibia.or.jp

## GDP (国内総生産)

企業に携わっている皆さんは経済に興味があります。

日本はかつて米国に続きGDP世界第2位でしたが、2010年に中国に追い抜かれて3位に転落しました。

ではGDPとは一体どんな指標なのでしょう？

GDPとは、どの国が「1年間に稼ぎ出した付加価値」で、要は「儲け」なのです。GDPが増えると国の経済力が成長し、経済力を計る数値とも言えます。

この国内総生産を3つの観点から見る事が出来るのですが、それは「生産」「分配」「支出」で、この3つの見方から観察しても導き出される数値は等しくなります。これを「三面等価の原則」と呼びます。

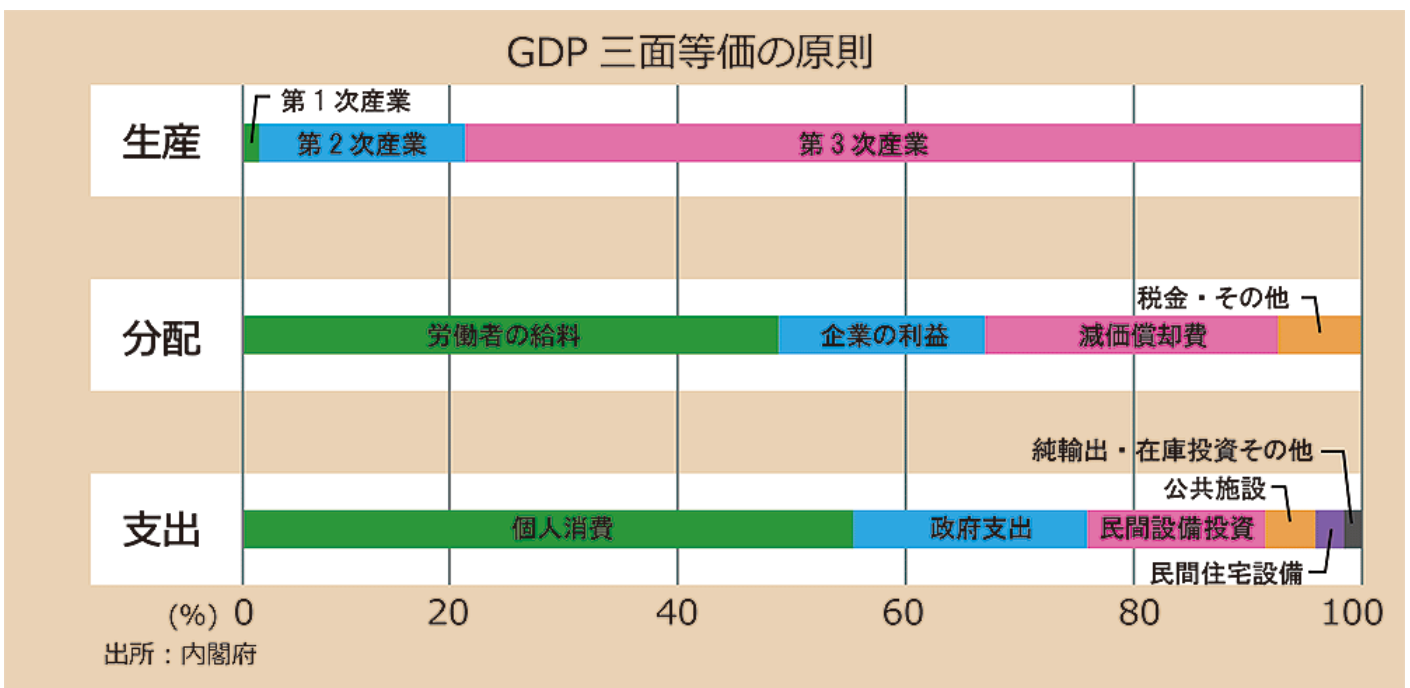
経済の循環は財・サービスの生産(生産)、財・サービスの価値の分配(分配)、分配された価値の消費(支出)が理の当然ながら同一になります。

生産面から見ると、第1次産業+第2次産業+第3次産業

分配面から見ると、労働者給与+企業利益+減価償却+間接税-補助金

支出面から見ると、個人消費+政府支出+投資(設備投資+公共投資+民間住宅設備)+在庫品の増加+輸出-輸入

【見る方向が違っていても大きさは同じ】

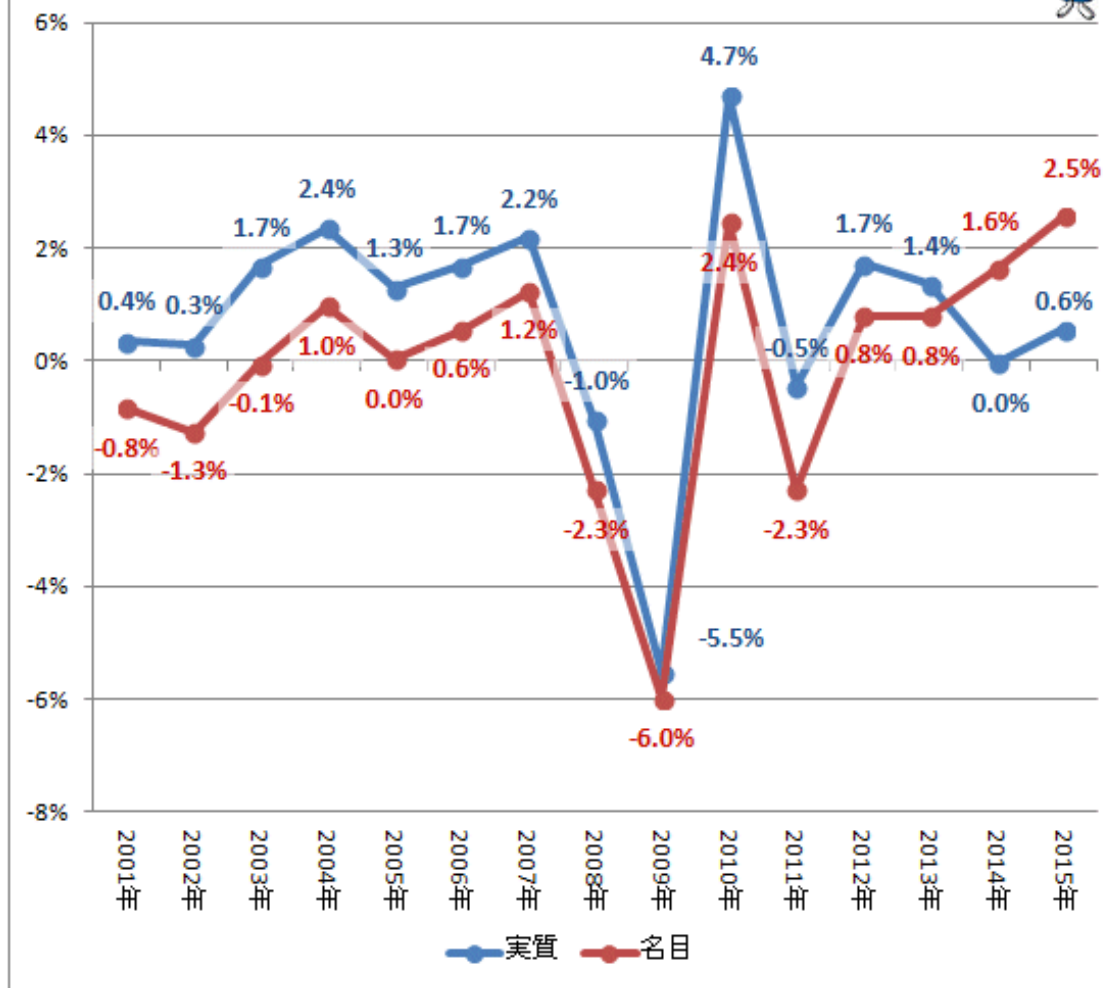


この表を見ると生産の面は別として、支出面から見るとGDPの支出が60%弱で、続いて政府支出と投資が経済を支えています。そうすると消費が伸びGDPがプラスに働くことがよく分かります。安倍政権が消費と投資を増やそうとしているのは、GDPを増やそうとしているからです。なかなか増えないのが実態ですが…。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: [info@ibia.or.jp](mailto:info@ibia.or.jp)

日本のGDP前年比(実質・名目、2001年～2015年)



他に名目GDPと実質GDPという指標があります。これは少し荒っぽく言うと・・・

■名目GDP・・・単純に金額を合計したもの

■実質GDP・・・名目GDPから物価変動を除いたもの

このグラフで見ると成長率は下降している事がわかります。景気を読む基本はGDPの中身を分解して見る必要がありますね!!

2016年では、

国内総生産 = 消費 + 投資 + 政府支出 + (輸出 - 輸入)

537兆 = 300兆円 + 99兆円 + 132兆円 + (86兆円 - 81兆円)

100% = 55.9% + 18.5% + 24.7% + (16.1% - 15.1%)

この式を

$Y = C + I + G + (X - M)$  で表し、GDPの恒等式とされています。

### 一人当たりのGDP

GDPは米国、中国に次いで世界3番目です。それでは、日本の1人当たりのGDPは世界で何番目なのでしょう?! 読者の皆さん、分かりますか?! 次の表が世界の一人当たりのGDPの順位です。

日本は22位ですがビックリしますね!!

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

順位	国名	GDP/人	順位	国名	GDP/人
1	ルクセンブルク	103,199	16	香港	43,528
2	スイス	79,242	17	フィンランド	43,169
3	ノルウェー	70,392	18	カナダ	42,210
4	マカオ	67,079	19	ドイツ	41,902
5	アイルランド	62,562	20	ベルギー	41,283
6	カタール	60,787	21	イギリス	40,096
7	アイスランド	59,629	22	日本	38,917
8	米国	57,436	23	ニュージーランド	38,345
9	デンマーク	53,744	24	フランス	38,128
10	シンガポール	52,961	25	アラブ首長国連邦	37,678
11	オーストラリア	51,850	26	イスラエル	37,262
12	スウェーデン	51,165	27	イタリア	30,507
13	サンマリノ	46,447	28	プエルトリコ	29,697
14	オランダ	45,283	29	韓国	27,539
15	オーストリア	44,498			

## 財政政策出動

さて、日本では景気浮揚策で「財政出動」という言葉をよく耳にします。財政出動とは何なのでしょう…また財政出動による景気刺激策はどれだけの景気を浮揚させる事が出来るのでしょうか!? 例を挙げてみましょう。

橋の公共工事で建設会社に100億円で発注しました。建設会社は鉄鋼会社に建築資材80億円で発注します。鉄鋼会社は鋼業会社に鉄鉱石など64億円で発注します。このように発注を受けた会社が原材料を80%発注するのを次から次に繰り返すと、発注額の合計が最初の発注額の5倍、500億円となり(無限等比例列)当初の発注額の5倍の乗数効果が生まれることとなります。発注額のうち次の発注に回す比率、ここでは0.8を「消費性向」と言いますが、この大小が乗数効果に影響します。この消費性向が1970年から下がり続け、2000年代に入ると「1」前後まで低下していると言われています。これは消費性向が変化し年金等の給付水準などの懸念から、貯蓄に回される傾向が強くなってきたからです。そうすると公共工事などの財政出動は景気浮揚効果が小さくなってきたと言うべきで、減税にしたところで同様であると考えられています。

現在までの政府の政策は、公共事業が景気浮揚の王道でしたが、期待するほど効果がないと言わざるを得なくなってきました。これは為替相場の変動制を取っている国では為替変動で相殺され、効果が効きにくいという事が分かってきました。

財政赤字が拡大すると実質長期金利が上昇し、設備投資や住宅投資が減少します。(クラウドディング・アウト効果) また、実質長期金利が上昇すると国内への日本流入圧力が生じて自国通貨が増価し、輸出が減少して輸入が増価するためGDPが減少します。よって、変動相場の下で景気回復や雇用を増やすには財政政策よりも金融政策が効果的だという理論がロバート・A・マンデルとマルコス・フレミングが1963年に発表、1999年にノーベル経済学賞受賞しています。

## 休日

社員採用の時に「どうして私の会社を選んだのですか?」と聞くと「休日が多いので…」と答える方がいますが、外国人実習生たちは「残業をさせて下さい」と、まるで日本の嘗での1954年から始まった日本高度経済成長期の日本人のよう…このファイト、現代社会の若者達に求めたいですね!!

順位	国名	法定休日 日数	順位	国名	法定休日 日数
1	インド	18	4	トルコ	15
1	コロンビア	18	5	インドネシア	14
2	タイ	16	5	マレーシア	14
2	レバノン	16	5	フィリピン	14
2	韓国	16	5	ロシア	14
<b>3</b>	<b>日本</b>	<b>15</b>	5	ベネズエラ	14
3	アルゼンチン	15	5	モロッコ	14
3	チリ	15	5	マルタ	14
3	フィンランド	15	5	スペイン	14

※中国、スウェーデン、シンガポール、カナダ、デンマーク、フランスなどは11日

※米国、ベトナムは10日

※法定休日と有給休暇日数を合計した日数では日本は25日で8位、米国は14日で10位

## 労働生産性

日本は休日が多い事が分かりました、しかし労働生産性が高くなければ経済成長を望めません。

順位	国名	労働生産性 (労働1時間当 たりのGDP)	順位	国名	労働生産性 (労働1時間当 たりのGDP)
1	ノルウェー	86.6ドル/時		世界平均	45.8ドル/時
2	ルクセンブルク	82.1ドル/時	19	アイスランド	41.7ドル/時
3	アイルランド	71.2ドル/時	<b>20</b>	<b>日本</b>	<b>40.1ドル/時</b>
4	アメリカ	64.1ドル/時	21	スロベニア	39.2ドル/時
5	ベルギー	61.8ドル/時	22	ニュージーランド	37.8ドル/時
6	オランダ	60.2ドル/時	23	スロバキア	34.7ドル/時
7	デンマーク	59.5ドル/時	24	ギリシャ	34.5ドル/時
7	フランス	59.5ドル/時	25	ポルトガル	34.0ドル/時
9	ドイツ	58.3ドル/時	26	イスラエル	33.4ドル/時
10	スイス	55.1ドル/時	27	チェコ	31.0ドル/時
11	スウェーデン	54.7ドル/時	28	韓国	28.9ドル/時
12	オーストリア	53.7ドル/時	28	トルコ	28.9ドル/時
13	オーストラリア	53.0ドル/時	30	ハンガリー	28.3ドル/時
14	カナダ	51.8ドル/時	31	ポーランド	28.1ドル/時
15	スペイン	50.0ドル/時	32	エストニア	27.8ドル/時
16	フィンランド	49.0ドル/時	33	チリ	27.2ドル/時
17	イギリス	48.5ドル/時	34	ロシア	24.0ドル/時
18	イタリア	46.7ドル/時	35	メキシコ	19.2ドル/時

世界の平均より下とは…これらの表からも分かるように、日本は勤勉と言われる国から働かない国へ変わってきている事が分かります。

## 北朝鮮と日本防衛

どこの国でもそうですが、日本人は「安全安心」はタダだ、無料だという「井の中の蛙」的な思考がありますが、北朝鮮問題や中国の東シナ海問題など日本を取り巻く環境が日本を脅かしています。そこで北朝鮮の核開発、弾道ミサイル問題と我国の防衛を取り上げました。

昨年8月3日午前7時50分頃、北朝鮮が北朝鮮半島西岸の黄海南道殷栗郡付近から弾道ミサイル2発を発射、発射されたミサイルはノドン(射程1300km)とみられる長距離弾道ミサイルと報じられており、1発目は発射直後に爆発したと見られていますが、2発目のミサイルは約1000km程飛行し、朝鮮半島を横断し秋田県男鹿半島沖約250kmのEEZ(日本の排他的経済水域)内に落下しました。

これに対し日本政府は、弾道ミサイルの破壊措置命令を出せず、政府関係者は「もし日本の領土まで飛んできたとしても迎撃できなかったら」とも打ち明けミサイル防衛能力の限界も露呈し、北朝鮮のミサイル発射は「国連安全保障決議への明白な違反であり、断じて容認できない」と非難するのみでした。

北朝鮮は2016年に核実験、潜水艦からのミサイル発射実験、直近ではマレーシアで金正男氏暗殺など…とんでもない国が近くにあります。この脅威に日本は太刀打ちできるのでしょうか!?

テレビを見ていると「日本には憲法9条があるから話し合いで…」「国連に…」「平和的に…」などの意見も…考えずとも分かるでしょうが、とんでもない事をする国に平和的に解決できるのでしょうか!? 馬鹿も休み休みにして頂きたい!!

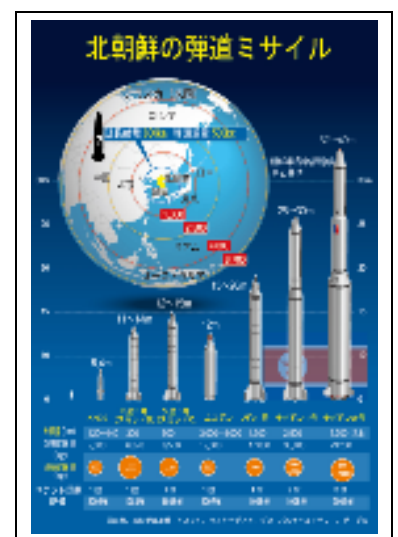
抑止力がなければ国は守れない…これが世界の基本的な原則です!!

論より証拠、米軍が原子力空母カールビンソンを日本海に派遣したから北朝鮮の核実験やミサイル実験が鳴りを潜めたではありませんか!!

私達はもっと現実を知らなければなりません、冷徹に考えなければならぬ事を知るべきです。北朝鮮からのミサイルが排他的水域に落ちたとは言え、これが米国なら即迎撃して反撃しているはずです。そうでないと自国を守れないからです、憲法云々言っている間に日本は焦土化しているでしょう。最もそれで良いと覚悟を決められる人は良いですが、平和ボケしている日本人は北朝鮮問題を機会に考えを新たにする時なのかも知れません。

## 北朝鮮の戦力

北朝鮮はトクサ(射程120km)、スカッド(1000km)、ノドン(弾道ミサイル1300km)、テポドン(ポドン1はノドンを1段目、スカッドを2段目に利用した2段式の液体燃料推進方式の弾道ミサイルで射程1500km以上)、ムスダン(約2500km~4000km)などのミサイルを保有しています。軍事情報を分析するHISジェーンによると、北朝鮮は700~1000発の弾道ミサイルを保有し、うち日本のほぼ全域を射程に収めるノドンは45%で、米国防総省によるとノドン用の移動式発射台は最大で50両を保有すると言います。北朝鮮の弾道ミサイルは日本から米国本土まで届く核弾頭搭載可能弾道ミサイルになり、貴重な外貨を稼ぐ花形商品となりました。特にノドン1号弾道ミサイルはシリア、パキスタン、イランへ輸出されている安価な人気兵器とのことです。



アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: [info@ibia.or.jp](mailto:info@ibia.or.jp)

## 日本の迎撃態勢は？

これに対しBMD(弾道ミサイル防衛システム)は現在自衛隊が保有しているイージス艦と地对空誘導弾ペトリオット・システム(トレーラー移動式)で統合的に運用する多層防衛システムを持っています。このBMDシステムは、弾道ミサイルの迎撃を行うイージス艦などの兵器、弾道ミサイルの飛翔状況を探知・追尾するセンサー、さらに兵器とセンサーを効果的に連携させて組織的に弾道ミサイルに対処するための指揮統制・通信システムから構成されています。

それでは陸上は別として、海上の花形イージス艦は現在6隻、建造中のものが2隻です。

イージス艦とはアメリカが開発したイージスシステムを搭載している艦艇で、

- 広範囲かつ正確な索敵能力
- 高速・正確な情報処理能力
- 多目標に同時対応できる対空能力

を特徴とする高性能な装置です。イージスシステムはイージス戦闘システムの中核として機能し、広範囲の索敵が可能な強力なレーダーを使用して敵を発見・識別して優秀な対空防衛システムによって対処します。一般的に10個近い目標と同時に交戦できるとされており、他の艦艇と比べると非凡な能力を保有しています。

イージス艦 8隻



こんごう型



あたご型

## 解説)

4月25日、北朝鮮人民軍創設85年記念日にミサイル発射や核実験などが行われることを関係国が警戒していましたが、29日に失敗か計画通りか...50km飛んだだけのミサイル実験以外に何事も起こりませんでした。これは米軍のカールビンソンが朝鮮半島に向かっていただけの事もあり、朝鮮半島までの間自衛隊と訓練と言っていますが、実際は万一の場合を想定し核兵器開発阻止に向け軍事的圧力を強める為です。しかし官僚までが平和ボケして次のような事を言っています。

ミサイルが飛んできたら...

- 屋内ならばドアや窓を閉め切る
- 水道やガス、換気扇も閉じる
- ドア、壁、窓から離れた位置に座り動かない
- 屋外ならば近くの頑丈そうな建物に避難
- 地下街でも可能
- 冷静に情報収集する
- 行政の指示に従って動く

…平和ボケとはこの事です。官房長官が発表していましたが、官僚が机の上で書いたものでしょう。

## 戦争は起こるのか!?

筆者の見解は結論からいうと戦争にはなりません。

その理由は…金正恩も馬鹿ではないでしょう。簡単に言うと、仮に北朝鮮が核弾頭をつけミサイルを発射した場合、米国からの反撃は倍返しどころではありません。ましてや戦争が起これば金正恩の命はおろか、北朝鮮、韓国、中国、日本に多大な最悪の状況が起こります。幾ら悪さをする北朝鮮も先制的に戦争を仕掛けることはないでしょう。

しかし、日本は万一の場合「備えあれば憂いなし」米国頼みだけでは頼りになりません。やはり「自主防衛」が必要です。

## 欧州連合(EU)が揺れ動いている

英国の離脱の次はフランス…フランスで大統領選挙が荒れています。

GDP(国内総生産)では日本の後ですが、イギリスやアメリカと並んで世界で最も影響力のある国です。フランス語圏の大きさ、フランス料理、芸術、文化、学問の影響力を含めるとグローバル化の中心であるアングロ・サクソン文化圏に抵抗しうる唯一の国であるといっても過言ではありません。

1回目の選挙の結果を受け、フランスのオランド大統領は24日に声明を発表「極右政党はフランスにとってリスクだ。フランスの孤立だけでなくヨーロッパ連合(EU)を崩壊に導く危険がある」と述べました。そのうえで「マクロン氏はフランスの価値を守り国民を結束させる」と述べて、決選投票でマクロン氏に投票するよう呼びかけました。

一方ル・ペン氏は決選投票までの間、国民戦線の党首の座から一時的に離れると表明し、反移民に封印し左翼層や国民戦線の支持層以外を取り込もうとしており、自身の当選を阻止しようという勢力との間でせめぎ合いが続きそうです。

マクロン氏は1位を取って、欧州連合やドイツなどでは要人がほっと一息したことでしよう。

## 主な候補の得票率

フランス内務省が24日に発表した大統領選挙の結果得票率は次のとおりです。

- ◇中道の無所属、マクロン氏が24.01%
- ◇極右政党・国民戦線のル・ペン氏が21.30%
- ◇中道右派、共和党のフィヨン氏が20.01%
- ◇急進左派、左派党のメランション氏が19.58%
- ◇与党・社会党のアモン氏が6.36% となっています。

このところ米国、英国、仏、独はじめ世界各地で保守ナショナリズムが台頭してきています。

そうです!! ポピュリズム(大衆迎合)の台頭ともいえます。基本的にこういう動きというのは通常政治家がとるものですから当たり前と言えば当たり前ですが、一面これは既存のエリート主義あるいは既存の体制や知識層といった類との対決にもなるかと思えます。

民主主義の最大の欠陥として衆愚政治に陥る可能性だとは、昔から指摘されているところです。この原因は社会格差が生んだのか…とも言われていますが、果たしてその理由を読者の皆様、お考え下さい。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp





エマニュエル・マクロン

1977年12月21日生まれの39歳

父神学者と医師の息子としてフランス北部のソンム県に生まれ、パリ政治学院、フランス国立行政学院を卒業。

2004年フランスの財務省財政監察官、2008年ロスチャイルド家の中核ロチルド&Cieに入行、2010年副社長まで昇進。

2012年大統領府副事務総長、大統領フランソワ・オランドの側近を務める。

2014年マニユエル・ヴァルス内閣の経済・産業・デジタル大臣。家族は29歳の時に高校時代のフランス語の先生であった24歳年上の女性ブリジット・マクロンと結婚しています。

#### 【政治的立場】

グローバリズム支持者、市場原理を最大限尊重した経済体制、歳出は削減し公務員の大幅な削減、規制緩和、国営企業の民営化を積極的に主張する新自由主義者である。

また、積極的な移民・難民の受け入れを主張するなどリベラル・左派的な姿勢をとっており、外交面では親イスラエル路線を採用し、パレスチナの国家承認に否定的な立場である。

マリーヌ・ル・ペン

1968年8月5日生まれの48歳

パリ郊外ヌイイ・シュル・セーヌに生まれ、ローマ・カトリック教徒として育ち、8歳の時に父を狙ったと思われる爆弾テロに姉と共に巻き込まれ、自宅をダイナマイトで爆破されました。また、マリーヌは学校ではいじめられっ子で父が唱える意見は当時のフランスでは異端と捉えられており、学校では「悪魔の子」と囃し立てられました。

パリ第二大学で法学の学位を修得した後、弁護士として働き、2002年「ル・ペンの世代」代表。ル・ペンの世代は青年にル・ペンの思想と業績を宣伝・普及する為に設立された組織で、2003年4月には国民戦線副党首(定数8名)に選出される。



#### 【政治的立場】

妊娠中絶や同性愛を容認しており、また反ユダヤ主義的発言を理由に父親を除名し、最近では反イスラム主義的姿勢に舵を切っている。これも理由としては彼女自身が同性愛を容認しているのに対し、イスラム系の移民が同性愛に反対している為である。

フランスでのムスリム移民の野外礼拝をナチス・ドイツによるフランス占領に例える発言をするなど物議を醸しました。ただし、ムスリム移民の排斥を唱えるのではなく、フランス社会に相応しいイスラムを求めていくとしています。

#### 【私生活】

1995年に国民戦線で働いていた経営幹部のフランク・シャフロイと結婚3人の子供に恵まれるものの2000年にシャフロイと離婚、2002年に元国務長官であり国民戦線の地方選挙事務局長だったエリック・ロリオと結婚するも2006年に離婚しています。2009年からピエ・ノワールとアルジェリア系ユダヤ人の子孫であるルイ・アリオと交際しています。

## 決戦投票

マクロン氏がEU(欧州連合)を重視しているのに対し、ル・ペン氏は公約で離脱を問う国民投票の実施を掲げています。

政党基盤も選挙経験もない若手候補が左右両派を中心とした政界の構図に独自の戦いを挑み、大統領へあと一步に迫りました。マクロン氏が目指すのは経済改革を進めると同時に弱者も配慮する“バランス型”。

大方の見方はマクロン氏が勝利するとしています。果たしてどうなるのか…5月7日が決戦投票日です!!

## 北朝鮮に対する温度差

先日釜山を訪れました。

それも金日成生誕日である4月15日に…チケットが格安だった事と、慰安婦像を見たかったのと、何より韓国で平然としている友人が不思議でたまらなかった事から飛行機に乗ってしまいました。半ば本当にミサイルが飛んでくるのではないかと…飛行機が撃ち落とされるのではないかとヒヤヒヤしましたが、空港に着くとどのんびりした空気で北朝鮮どこ吹く風?

タクシーも道行く人も普通で、デパートをのぞくとおばさんや若者がショッピングや食事を楽しんでおり、夜になると食堂は賑やかで街は若者で溢れ返っています。

韓国人に訪ねてみると「何も起こらないよ!日本のマスコミは大袈裟だね」って。

韓国人の友人に電話してみると、「ゴルフ帰りにカラオケに来て歌ってるよ〜、またか…って感じだから大丈夫だよ!!日本のニュース悪いわ〜」と余裕な感じで…日本との温度差に不安になりました。

私達日本人は「金正恩は狂っているから何をするか分からない」「腹違いの兄を殺すくらいだから怖い」「やけくそになって他国を巻き込んでミサイルを発射するかも」と、とにかく予測不可能な冷酷な独裁者だと考えていますが、地続きの韓国では危機感どころか、いつもの事よ…ぐらいにしか考えていません。現に大統領不在にもかかわらず国はいつも通りに回っているのですから…。

因みに、フランス大統領選挙は5月7日、韓国大統領選挙は5月9日です。

朝鮮戦争では北朝鮮が国境線と化していた38度線を超えて侵攻し、北朝鮮の圧勝でたった3日間でソウルを占拠、韓国は膨大な被害や犠牲者を出したのにも関わらず、韓国国民は不安ではないのか…心配ではないのか…大丈夫なのか…と不思議でたまりません。韓国もまたアメリカが助けると考えているのでしょうか…いや、見た感じそういう気配も感じ取れません。本当に何も起こらないと思いついて見ると見え南北が統一される事を願い、今回の問題よりも自国の経済や就職難の方が余程気になっているようです。

それから、テレビでしか見た事のない慰安婦像…日本大使館の前にいました。首から花輪がかけられて足元には綺麗なお花やお菓子が多数置かれており、毎日磨いてもらうのかピカピカ光って座っていました。撮影したかったのですが周りの韓国人に怒られそうで諦めましたが、いつになったら撤去されるのだろうか…。

片や法律だからと2年の兵役、片や生活がかかった命がけの訓練、今やどちらが軍事力を持つのかさえも判断しにくい状況ですから…日本は兵役すらなくミサイルに竹やり状態…もっと最悪です。最近では的が日本に向いているような気がしますし…万が一の事が起こればアメリカだって自国が一番大事ですから日本の事なんて放り出してしまうのは確実ですし…あのおっとりとした音源の国民保護サイレンが鳴らないうちに何かしら解決に結びつけば良いのですが…。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: [info@ibia.or.jp](mailto:info@ibia.or.jp)